

社会福祉法人  
日本医療伝道会  
Japan Medical Mission  
http://www.kinugasa.or.jp/

# 衣笠

Volume. 38 Issue. 2

～「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」マタイによる福音書25章40節～

## 第413号

# 全ての人の心をあわせ、 この困難な時代に立ち向かう

「私の兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。」  
(マタイによる福音書 二十五章四十節)

二〇〇五年は福祉の分野では大きな変化の年でありました。すなわち、十月の介護保険制度の一部改正に続いて、公的施設についても指定管理者制度による運営方式が導入され、さらに今年、二〇〇六年には医療保険制度の大きな変革が予定されており、医療・福祉分野の事業は、これまでの行政主導と保護による安定した事業運営とは一変して、利用者の選択による厳しい競争の原理による経営が



社会福祉法人  
日本医療伝道会  
理事長 井口 延

求められることとなり、私たちのような社会福祉法人はその存在意義さえ問われかねません。私たち日本医療伝道会はこのような大きな時代の変化の渦中に巻き込まれ、荒波にもまれる小船のようであります。しかし、「危機」は「機会」であるとも言われます。困難な中にも多くの良き協力者が与えられています。私たちはこの時代の変化の時、またとない絶好の機会として捉え、従来の山積する課題を解決する時にしたいと願います。

日本医療伝道会は一九四七年に衣笠病院を開設以来、有志に支えられ、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、ケアセンターなど、時代と地域社会の要請に応じて医療・福祉の分野における活動を広げて今日に至っております。

この間、私たちは火災による建物の全焼を始め、いく度かの経営の危機を経験しながらも、その都度、地域の多くの方々、行政、各関係団体、キリスト教

会に支えられると同時に、日本医療伝道会に関わる者全てが冒頭に掲げた聖書の教えに絶えず立ち戻り、自らを省みる努力があつてこそ今日であることを思わされます。地域の有志の方々による「後援会」やボランティアの方々の中にはそのことを如実に物語っております。

昨年開始された日本医療伝道会の改革計画（OMK）は二年目を迎えております。私たちは与えられている「使命」をもう一度確認し、時代の要請に正しく対応して、地域の方々に喜ばれる、より良い活動を推し進めるべく、組織全体を大きく変えて行きます。日本医療伝道会に、職員として、あるいはボランティアとして関わる人々、地域社会にあって応援して下さる方々、全ての人の心をあわせ、夢をもってこの困難な時代に立ち向かうものでありたいと願います。

## 社会福祉法人 日本医療伝道会 役員改選

任期 2005年12月1日～2007年11月30日

理事

井口 延  
橋本 勉  
伊藤義彦  
大澤義信  
山本律子  
樋野興夫  
室谷千英  
山形寿太郎

監事

生野隆彦  
菅宮建吉

評議員

井口 延  
橋本 勉  
伊藤義彦  
大澤義信  
山本律子  
津田 一路  
山根誠之  
斉藤篤美  
種瀬富男  
阿部 誠  
齊藤 学  
井上吉隆  
青山辰夫  
佐藤千郎  
浅野 豊  
大野静枝  
井出智三 (新任)  
松山慶三 (新任)

## 衣笠病院

## 病院理念のもとに

衣笠病院  
病院長

橋本 勉

少子高齢化社会の到来は、予測はされていたものの、実際に押し寄せてきた急激な変化に対応しかね、世の中はいささか慌て気味です。どのようにして医療・介護費を削減するかに焦点が向けられています。そこで、一段と在宅医療の推進を図ろうとしています。介護に関しても、保険制度改定で在宅介護が重視されるようになります。

病院では、平均在院日数の短縮が進められ、訪問診療をはじめとする在宅医療が強化されようとしています。二〇〇六年度は「在宅元年」と呼ばれるゆえんです。

戻り、病院の理念を再確認することは意義あることです。病院の理念は、創立の精神（マタイによる福音書二十五章四十節）とともに、各職員が胸につけている名札の裏に銘記されています。すなわち、①キリスト教精神に基づいて患者様・ご家族・地域の方々のために医療を行う②法人内施設と協働し、保健・医療・福祉の統合をめざす③「来てよかった病院」と言われるように、医の心を持って患者様中心の医療を実践する、の三点です。

このような理念のもとに、二年目を迎えたOnward Mission Kinugasa (OMK) — 衣笠の使命を担って前進—を推進したいと思えます。



## 衣笠ホーム

## 心豊かに生きること

衣笠ホーム  
ホーム長

齊藤 学

二十一世紀に入ってから、社会全体のスピードが速く感じるのは私だけででしょうか。逆に「スローライフ」「スローフード」などが社会で提唱されていることは興味深いところです。健康寿命全国トップクラスの山梨県が行った、健康寿命実態調査では、「無尽」（山梨県で行われている人付き合いの形態など社会的ネットワークに多く参加している場合と、食生活面では、スローフードである伝統食「ほうとう」をよく食べている場合のいずれもが健康寿命を伸ばすことに関係している、との調査結果が出されています。

山梨県の調査は、日常生活の過ごし方と、食生活の大切さを物語っているように思います。人が歳を重ねていく時に、その人らしく生きること、大切に思っていることを大切に守り続けること、人付き合いも食生活も大切にしながら心豊かに生きるこの大切さを改めて思いました。



新春 謡の会

お世話になった恩人です。武田先生は、「ご利用者に出会えていますか？」と問いかけてくださり、「ふれあい」を大切にするのを、あらためて投げかけてくださいました。制度改正などの「変化」に心を奪われていた自分にとって、「原点」に帰るように背中を押ししていただいたように思います。ありがとうございました。

衣笠ホームはユニット型施設として再スタートして、皆様のお支えにより三年目を迎えています。本年四月には、介護保険制度の改正が行われ激変の時を迎えています。衣笠ホームは利用者様を第一に考え、大切にされるホームであり続けるよう頑張りたいと思います。二〇〇六年度も、皆様のご支援、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

「明るく、楽しく、快適に」衣笠ろうけんの役割は



衣笠ろうけん  
事務長 阿部 誠

衣笠ろうけんは昨年七月に開設十周年を迎え、二十年に向けて新たな出発をしました。二〇〇〇年四月に開始された介護保険制度も六年が過ぎ、本年四月には大幅な改定が行われました。団塊の世代が六十歳定年を迎え始めたこの年、新たな老人保健施設の役割を職員一同で学び、利用者にサービスを提供していかなければなりません。

全国老人保健施設協会が新たに掲げた理念は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮し、生活機能の維持・向上をめざし総合的に援助する。また家族や地域の人々・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援する、ということでした。

また具体的役割として五つの役割が示されました。

**一 包括的ケアサービス施設**  
望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームでの支援。利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションの提供。

**二 リハビリテーション施設**

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能の向上を目的に、集中的な維持期リハビリの提供。

**三 在宅復帰施設**

脳卒中、廃用症候群、認知症などによる個々の状態に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期在宅復帰に努める。

**四 在宅生活支援施設**

自立した在宅生活ができるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供し、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努める。

**五 地域に根ざした施設**

家族と地域住民と交流し情報提供を行い、様々なケアの相談に対応する。行政や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域一体となったケアを積極的に担う。また評価・情報公開を積極的にを行い、サービスの向上に努める。

衣笠ろうけんでは四月から二名のリハビリスタッフが専従となり、在宅復帰支援機能の強化と医療ニーズ・介護ニーズの高い中重度者への対応サービスが今年の課題です。「明るく、楽しく、快適に」を心に刻み、利用者サービスに取り組んでいきます。

笑顔と出会うために



衣笠病院ケアセンター  
所長 佐野かず江

介護保険財源の維持と高齢者のいっそうの自立支援を目的として、二〇〇六年四月、介護保険第二幕が開いた。二〇〇〇年四月に介護保険が新設。衣笠病院ケアセンターでも、二〇〇〇年四月に居宅介護支援事業所と衣病訪問看護ステーションがサービス提供を開始。衣笠ホーム移転に伴い二〇〇三年十月より訪問入浴事業と在宅介護支援センター（市委託事業）のサービスを提供させていただいている。

この六年間、多くの方々の出会いがあった。腰痛があり自宅内での移動が困難な時、手すりの設置をすることでその後お元気になる方。がんで「最

期まで自宅で過ごしたい」「自宅で共に暮らしたい」というご本人・ご家族とが、亡くなる前日に桜の花と家族皆の笑顔の写真を撮り、お別れされた方。ぎりぎりまで自宅療養され、病院に入院し、病室でご家族に見守られながらお別れされた方。もう残された命が少ないが、お風呂が大好きで、本当に穏やかな笑顔で入浴された方。

介護保険制度が変わっても、ケアとしてのサービス提供を通して、多くの方との出会いに感謝し、地域の方々のお役にたてるよう努力していきたいと思えます。

再びの挑戦です



衣笠病院長瀬ケアセンター  
所長 三縄久代

介護保険大改定の年度が始まりました。予想どおり、ぎりぎりまで詳細がはっきりせず、大混乱のまま新たなスタートを迎えることになりました。

「走りながら創っていく介護保険」は、財政面だけの課題で「給付抑制」という意味合いが強調されています。もちろん、その側面は否めません。

それでも、私達には使命があります。与えられた条件下で、どのようにご利用者のために施策を解釈し、サービスを創りあ

げていくか：国への挑戦と言ってもいいでしょう。変るものと変らないものをしっかり見つめ、ご利用者のために大切なものを育てていく、正念場とも言える年です。

社会福祉法人として、ご利用者の人生の統合期である重大なこの時期をいかに支援させていただくか：皆様のお知恵をお借りし、職員一同頑張ってください。今後もご指導ご鞭撻、よろしくお願いいたします。



チャプレン：chaplain  
患者様やご家族の心のケアに  
あたる専門職

社会福祉法人 日本医療伝道会  
法人付牧師 山田和人

病院チャプレンとなった六年目。相変わらず孤軍奮闘している。トレーニングを受けたカナダの病院では、常勤のチャプレン三名に加え、夜間帯を受け持つオンコール専門のチャプレンが複数名雇われていた。病床数は二百だが、実際に機能していたのは百五十床ほど。病床数を考えるのと有り難いくらいのチャプレンの人数。この病院は、元々はカトリック教会が経営母体であった地域の中核病院の一つ。病院内にあるチャペル（礼拝堂）はカトリックらしい装飾が施され、正面右手にはマリア像がある。決して華美ではないが、十分な広さがありインテリアも明るく、来る者を和ませる静かな雰囲気が漂っている。定期的に礼拝が行われ、もっぱら人々の祈りや黙想の場として用いられている。市内にあるもう一つの病院は、『死の瞬間』で有名なエリザベス・キューブラー・ロスもかつて共同研究のために訪れたことがある、より規模の大きい病院だ。ところが、チャペルは小さくみすぼらしい。建物本体の明るさとは対照的な暗いインテリア。使い古されて手

## MINISTRY OF PRESENCE ミニストリー オブ プレゼンス チャプレンのダイアリー

### 無駄は省かない

の入れられていない小さなベンチ。礼拝堂らしい雰囲気を感じられず、まるでそこだけ取り残された空間のよう。三百床を越える病院なのにプロテスタントのチャプレンが一名勤務しているだけで、パートタイムの補助はあるものの日常の活動はあまり活発ではない印象を受けた。経営者の姿勢の違いなのだろう。チャペルを整えることも、チャプレンを雇うこともお金がかかることだが、より規模の小さな病院の方が宗教的、霊的なサービスを提供することに對する明確な哲学を持ち、それらを実行するために出し惜しみはしない。州政府が医療政策の見直しを行った時、この病院は存続の危機を経験した。規模の大きな病院に地域の医療の機能を一本化しようとしたのだが、結局その計画を見直して病院の存続を決定した。医療の機能の効率化を最優先し、それにそぐわない無駄（な支出）を省こうとする考えが、ケアの思想とそれらを担う人々を背後に押しやらなかつたこと、とても大きな収穫だと感じた出来事だった。

### 聖句

#### イースター（よみがえりの命への希望）

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」  
テサロニケの信徒への手紙一 五章十六〜十八節

社会福祉法人 日本医療伝道会  
法人付牧師 山田和人

新しい朝を迎えられたことを喜び感謝して一日を始め、働きを終えた夕べには感謝をもって一日を閉じる。心がけてはいることですが、身近にいてわたしの振る舞いを見ている人はきつと苦笑することでしょう。この簡素な聖句に鼓舞され、喜び感謝するという自分を自分の生活の中で美しく響かせたいと思っている人は少なくないと思います。

ある方が、キリスト教の洗礼を受けた記念にこの聖句を記した壁掛けをプレゼントされました。自分が一番好きな聖書の言葉だと言いつつ、この言葉のように生きたいと話されました。文字通り、この言葉のように生きようと努力されました。「自分は介護を受けなければ生きていけないけれど、家族も周りにいる人たちも本当によくやってくれます。だから、たとえ自分の意向とは違っても腹を立てたりせず、どんなことにも感謝して『ありがとう』と言いたい」。この方の置かれている状況を考えると、きれいなことと言えるようなことではありませんでした。「努力」する

ことが必要でした。感謝ということとは、自分の気持ちの中から自然発生的に出てくるものであって、そうでなければ純粹に感謝しているということにはならないと以前は思っていました。そのような固定観念が最初に砕かれたのは、ヘンリー・ナウエンの言葉に出会ったときでした。

「感謝を選び取ることは、何らかの本気の努力なしには実現しない。しかし、それを行うごとに、次に行うときの選択は少しやさしく、少し自由に、少し自意識過剰が減るようになる。」（『放蕩息子の帰郷』一二〇ページ）

そして、この言葉の意味するところ、つまり、感謝することとは単なる心の持ちようなのではなく、具体的な生活の在り方を方向づけ、決定していくものであることをわたしに教えてくれたのはこの方でした。以前の険しかった表情が影を潜め、笑顔と落ち着きをとり戻したとき、神様はこの方の肉体を束縛から解放し、魂に永遠の平安を与えてくださいました。

ボランティア

わかち合い



東二階病棟でお茶サービス

衣笠病院が主催している「こころを聴くボランティア養成講座」を修了したボランティアの集まり「衣の会」のニュースレターから、お茶サービスやホーム、ホスピスでの活動を通して与えられた、気付きとわかち合いの一部を紹介いたします。

◆Wさんが逝かれた。上品でユーモアがあり、笑顔が素敵で話好き。かと思うと、べらんめえ調で、胸にあるものをそのままぶつけたり、二時間も口を開かず、ただ黙って視線を皆に注ぐだけの時も。ココアが大好きで毎回来しみだったのに、「こんな甘いもの飲めない」と拒絶。色々なお顔を見せてくださった。一年余りの苦痛や不安、気遣いなどから解放されたWさんのお顔は美しく、微笑みさえ感じられた。お茶サービスの大切なお客様、人気者だったWさんから、私たちは多くの思い出と恵みをいただいた。(深澤和子)

△その方は、自分が戦争孤児であること、そのことで親戚を転々として育てられ、名字を幾度も変えさせられるなど、幼少時から今日までの苦しい日々を淡々と語られた。「一度誰かに話したかった。しかし、なかなか話し相手がいない。親戚や知人あるいは施設のスタッフに話せる内容ではない。第三者のボランティアだからこそ話すことができた。聞いてもらって、何だか胸がすっきりした」とおっしゃられた。私は、役割を少し実感できたように思った。(田端小太郎)

■その患者さんは、タオルや布団の端を持ち、縫い物をするかのように折ったり広げたりしている。私は側で折り紙をしながら、「だいぶできましたか」などと声をかけると、にっこり笑顔が返ってくる。そのうち表情が硬くなり、言葉をかけても、こちらに視線を向けるだけで表情は変わらない。私がここにいることが嫌なのか、出て行ってほしいのかな、と思い始めたとき、私の心を読んだように、「ここにいてください」とおっしゃった。患者さんの不安を取り除く前に、私自身の不安を除いていただいた。反省。(櫛田ミヨ)



明るい日差しがいつぱいの衣笠ホーム喫茶「オリブ」

は地域交流の場として、ボランティアによって運営されています。ここは地域の交流の場として、ボランティアの売りは手作りのシフォンケーキとロールケーキ。コーヒー・紅茶とのセットが三〇〇円で味わえます。奥様が焼かれた美味しいケーキにはご主人が心を込めて入れるコーヒーがよく合います。「このコーヒーは本当に美味しいよ」とホームのご入居者は大満足のご様子。

早朝からオーブンを駆使して焼き上げた手作りパンも人気です。アンパンやメロンパンは勤務が終わって家路につく前の職員の疲れを癒してくれます。



手作りの美味しさをボランティアの笑顔がさらに寛ぎの空間へと繋げてくれます。ここでは時間がゆつたりと流れ、集う一人ひとりの心と身体が甘い思いで満たされます。ボランティアの熱い思いによって営業されている喫茶「オリブ」にぜひお立ち寄りください。

営業は毎月第二・第四土曜日  
午後一時から三時  
お問い合わせは衣笠ホーム  
046・856・7101

衣笠病院



衣笠病院 東館5階病棟 看護師長  
糖尿病療養指導士 井上はるみ

# 正しく知ろう！糖尿病 「糖尿病教室」のご案内

衣笠病院では初めて糖尿病と診断された患者様や糖尿病療養生活をされているが、さらに糖尿病の理解を深めたいと希望される患者様・ご家族を対象に、毎月第三木曜日14時から本館二階講堂にて糖尿病教室を行っています。



患者様が日常生活で困っていることを医師・看護師・管理栄養士と交えて話し合ったり、患者様同志で笑いながら、時には愚痴を言い合いながら話す姿もみられます。またご夫婦で参加される方もいらっしゃいます。

現在は糖尿病と診断された患者様に対しての糖尿病教室ですが、今後は参加できる対象者を広げ、糖尿病という病気の正しい理解を多くの方々に広めていきたいと思っております。

教室の内容は

- ① 医師による「糖尿病の基礎知識」
- ② 管理栄養士による「食事療法」
- ③ 看護師による「日常生活の注意点」
- ④ 薬剤師による

「薬物療法（内服薬、インスリン注射）・低血糖について」

- ⑤ 臨床検査技師による

「糖尿病の検査について」

- ⑥ 健康運動指導士による

「運動療法」

④⑤⑥については、月ごとにいずれか一項目

の六項目を講義形式で行っています。また、医師・看護師が参加者の質問や相談を受けております。

糖尿病の療養生活は自己管理が重要なポイントになります。また療養生活の定期的な見直しも必要になってきます。

糖尿病教室スタッフ一同は糖尿病患者様の療養生活、またそのご家族の生活に少しでも手助けができればと思っております。

どうぞお気軽に参加してください。

2006年度 衣笠病院 糖尿病教室 予定表

| 月 日      | 時間 | 14:00~14:30  | 14:30~15:00   | 15:00~15:30   | 15:30~16:00  |
|----------|----|--|---|---|--|
| 4月20日(木) |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病とは</li> <li>・糖尿病の種類</li> <li>・糖尿病の合併症</li> <li>・質疑応答</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事療法</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬物療法：低血糖</li> </ul> 担当：薬剤部  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の注意</li> <li>・今後の栄養指導</li> </ul> |
| 5月18日(木) |    | 〃  | 〃   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動療法</li> </ul> 担当：健康運動指導士  | 〃  |
| 6月15日(木) |    | 〃  | 〃   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病の検査</li> </ul> 担当：臨床検査技師 | 〃  |
|          |    | 担当：医師  | 担当：栄養科  | ※月ごとに内容が変わります   | 担当：看護部   |

糖尿病教室参加ご希望の方は、  
下記までご連絡ください。

衣笠病院 内科外来  
TEL 046-852-1182

# 元気が一番

みんなの健康応援します  
健康管理センター

## 健康講座シリーズ第5回 腰痛予防実践プログラム②

衣笠病院 健康管理センター  
運動指導室 室長 大塚 洋



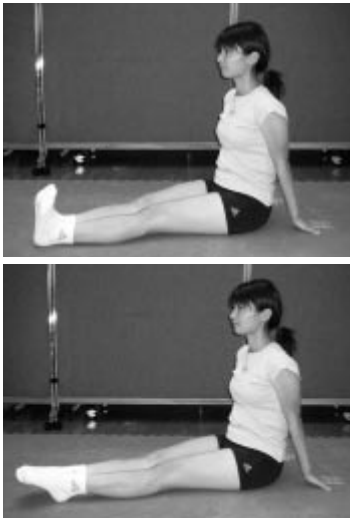
### 腰痛予防のストレッチング

腰が痛くなった時に、すぐに湿布を貼ったり、マッサージをしたりして痛みを和らげる方法をとる方が非常に多くなっています。もちろん対症療法も必要ですが、痛くなる前に『腰に負担をかけないためのストレッチング』を普段から取り入れていきましょう。

日頃から硬くなっている足首・股関節を積極的に動かしましょう

### 足の甲・アキレス腱の運動

足の甲とアキレス腱の動きを確認し、ゆっくり右回し、左回しを行いましょ。習慣化することで足首の関節も柔らかくなります。

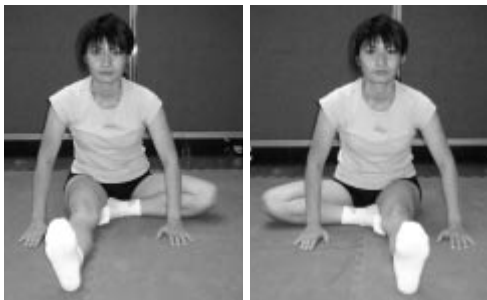
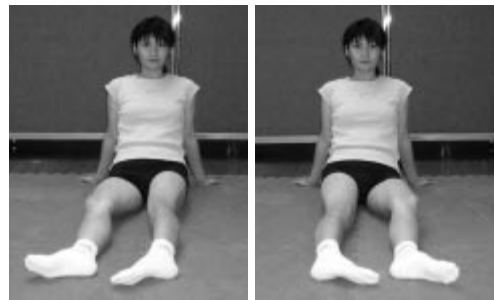


### 脚・股関節の運動

足の親指と小指が床に着くように左右交互に行います。足の親指と小指が床に着かない場合はお尻を少しあげて交互に行います。

### 大腿部のストレッチング

大腿部裏面を痛いと感じないところまでゆっくり伸ばしていきます。余裕がある場合は膝を曲げないで足首を前後に動かしてアキレス腱・ふくらはぎを伸ばします。



### 臀部のストレッチング

曲げている側のつま先を上げたり下げたりすると上げている側の臀部が伸びてきます。余裕がある場合は、曲げている足の膝に顎が着くように上体を前に傾けると一段と伸びます。(左右行って硬い側の腰に負担がかかっていきます)



※集団指導・個人指導をご希望の方は、運動指導室にお問い合わせください。

予防指導をご希望の方は、下記までご連絡ください。

衣笠病院 健康管理センター  
健康運動指導士 大塚 洋  
TEL 046-852-1182

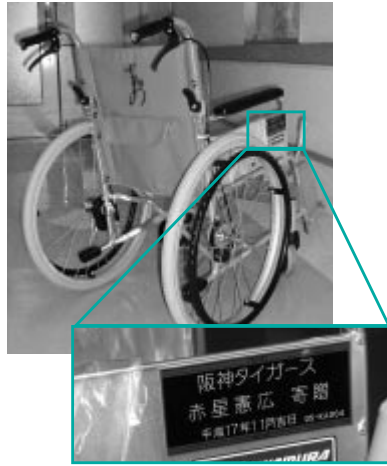
Information from Kinugasa

赤い車椅子

(野球部主将) 衣笠病院 経理課  
佐々木慎一

私は関西出身で阪神タイガースは幼少の頃から大ファンです。球団が関東遠征の時は、近郊の球場に応援に行く程の熱狂的ファンです。

今回「阪神タイガース赤星選手より車いす寄贈」に応募するきっかけとなったのは、たまたま阪神タイガースの選手応援歌を調べるために球団公式ホームページを開いた時に目に留まり、赤星選手の深い思いに感動し、病院野球部名で応募してみました。まさか当選できると思わず、球団の営業部担当者から連絡が入ったときには大変驚き、感激しました。憧れの球団の「赤い彗星」こと赤星選手から寄贈された「赤い車いす」を、大切に末永く患者様のために使用させていたきたいと思います。



衣笠ろうけんに新しいリフト車

車椅子が四台載る大型の福祉車両が日本財団の助成を受けて衣笠ろうけんに納車されました。

これがあればみんなでお花見にも行けるし、デイケアの行き帰りが賑やかになって楽しいよ!!

今日もご利用者のお宅まで、お迎えに行きました。「新車の乗り心地はとっても良いよ」とみんなに愛されている衣笠ろうけん号です。



ボランティア養成講座 受講生募集

●ホスピスボランティア講座

四月十四日(金) 一時半～四時半  
四月二十八日(金) 一時半～四時半  
五月十二日(金) 一時半～四時半  
五月二十六日(金) 一時半～四時半  
六月九日(金) 一時半～四時半  
お問い合わせ  
法人事務局ボランティア募集係  
電話・046・852・6256

●ここを聴くボランティア養成講座

九月一日(金)  
～二〇〇七年二月九日(金)  
(全十回)

応募方法

返信用封筒を同封し、募集要項をご請求ください。  
締め切り日  
二〇〇六年五月三十一日

応募先

〒二三八八五八八  
横須賀市小矢部二二三一  
社会福祉法人 日本医療伝道会  
法人事務局ボランティア募集係  
電話・046・852・6256

衣笠病院看護フェスティバル 二〇〇六

開催のお知らせ

日程・五月十一日(木)  
～十二日(金) 午前中  
場所・衣笠病院総合受付フロアー  
内容・健康チェック・相談コーナー  
・介護用品の展示・チャリティーバザー など

健康講座

4月22日(土) 第49回 人間ドックの検査結果の見方・考え方 講師 佐藤 剛  
13:30～  
5月27日(土) 第50回 自分の体型にあったウエイトコントロール 講師 中村 修  
13:30～

パイオルガンミニコンサート

4月22日(土) 第124回 パイオルガンミニコンサート 演奏者 千葉 仁  
15:00～  
5月27日(土) 第125回 パイオルガンミニコンサート 演奏者 木下郁子  
15:00～

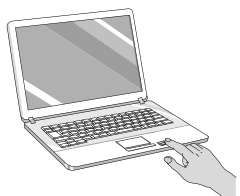
記事中の写真は全てご本人様の承諾を得て掲載しています。

編集後記

▼担当者に「メ切が過ぎているよ」と言われ、ようやく編集後記を書いているのが二月中旬、トリノオリンピック開催中です。日本はいくつメダルをとれるのでしょうか。スポーツ観戦は好きだけど寒いのが嫌いな私にとって四月は待ち遠しいです。

▼「四月」と入力して検索してみると検索結果は「四月新年度新入職員オリエンテーション」〇〇株式会社、「入社式」、「人事異動」などなど。四月、そう新年度です。新しいスタートを切る区切りの月、年末年始よりこちらのほうが身の引き締まる思いです。

新入職員の方は多少の不安を抱えつつ、大きな期待を抱えていることと思います。初心を忘れずにがんばっていきたいと思います。(D・I)



衣笠 第413号  
〒238-8588 横須賀市小矢部2-23-1  
社会福祉法人 日本医療伝道会  
理事長 井口 延  
電話 (046)852-6256(法人)  
振替口座 00220-2-13963